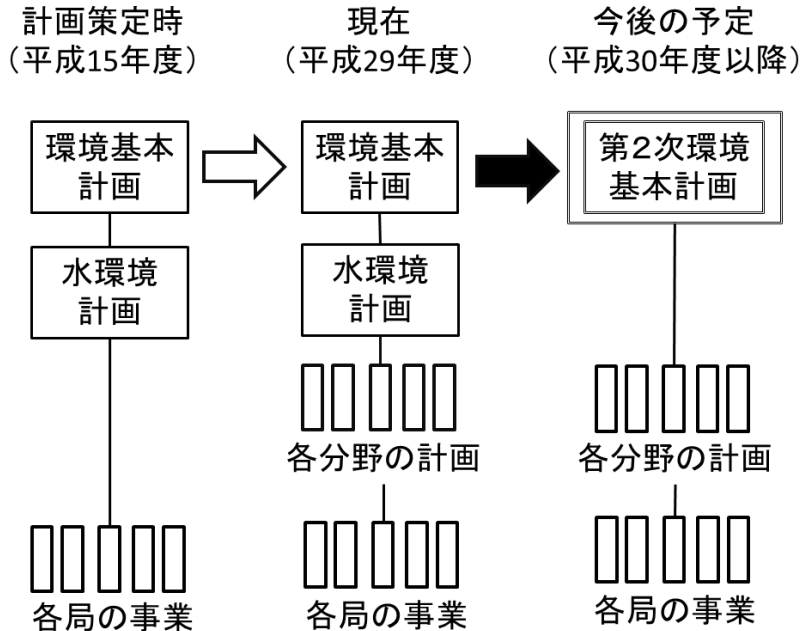


水環境計画の今後の方向について

平成 29 年 7 月 5 日
環境対策課

1. 今後の方向について

水環境計画については第 2 次環境基本計画に統合していく考え。



(理由)

- ・平成 15 年当時は現在のような事業計画は少なく、水環境を総合的に取りまとめる計画として策定した。現在は各分野で事業計画が策定されており、環境基本計画とは別に水環境に係る施策を抜き出して取りまとめる必要性は少なくなっている。
- ・平成 29 年度を目標年次とする水環境目標については概ね達成済み。今後の水環境に関する方向性については第 2 次環境基本計画の中に盛り込んでいく。

2. 取組別評価（平成 15 年～平成 29 年）【詳細別添】

望ましい水環境像	取組別評価
水環境像 1 豊かな水量をたたえ、健全に水が循環する都市	
水環境目標 1：川に水の流れを取り戻す	○
水環境目標 2：水生生物の生息に必要な流量（水深）に配慮する	○
水環境目標 3：地下水位の低下を止め、地盤沈下を防止する	○
水環境像 2 安全できれいな水を有し、安心して生活できる都市	
水環境目標 4：水道水源の水質を保全する	○
水環境目標 5：公共用水域における水質目標値を達成・維持する	△
水環境目標 6：雨天時に公共用水域に排出される汚濁負荷量を削減する	○
水環境目標 7：新たな地下水汚染を防止する	○
水環境像 3 水や緑や生物などの自然と人がふれあい、うるおいと安らぎが感じられる都市	
水環境目標 8：地域で親しむことができる水辺を創出し、維持する	○
水環境目標 9：生物が生息できる水辺を保全、回復する	○

総合評価：概ね達成